

第6次水俣市総合計画策定 (第1回) 市民ワークショップ

平成30年6月30日
水俣市公民館本館
(第1研修室)

水俣市総合政策部 政策推進課

A 班：周りの地域の手本となるまち

世界には、発展途上国を中心として、ゴミ問題が社会問題として取り上げられています。また先進国だからといってゴミの量が少ない国ばかりではなく、日本も食品ロスだけで1000万トンもの量に上るといわれている。これらの問題解決に対して、水俣市がその中心になってほしい。水俣市が行っているさまざまな環境活動に対する活動がさらに盛り上がり、水俣市のごみの分別方法が、日本各地に、そして世界中に浸透してほしい。

①活用できる地域資源

人

- ・環境意識の高い市民
- ・リサイクル推進員の存在
- ・専門的な人が居る事
- ・地域の方が協力している
- ・子供達がボランティアで参加＝良い
- ・埋め立てごみを持って行ったときに心が痛んだ(処分の様子に)
- ・子供たちの見学＝良い
- ・リサイクル委員さん、当番さんの努力大きい(負担感は減らしたい)
- ・指導してくださる人材

もの・システム

- ・地域に還元するシステム (リサイクル還元金)
- ・分別(高齢者、障がい者へ負担、配慮、もやいあい(助け合い)) ゴミ分別免除シールは良い

②地域の課題

高齢者対策

- ・高齢者等のゴミ分別への配慮
- ・ゴミステーションを作ってもらって良かった → 高齢者・障がい者への配慮

ゴミ分別意識

- ・ゴミ分別の意識を高める
- ・分別を何のためにやっているか 目標を持たたらいいな！
- ・ゴミ分別の徹底
- ・分別も変わっていくべきではないか(たとえばビンの分類はこれでいいのか?)
- ・生ごみの分量を計測して水俣の状況を市民が知る
- ・ゴミ 価値観の違い
- ・紙ゴミ(資源ゴミ)を地域で出したら捨てられたので、啓発が必要と思った

もの・場所

- ・地域のステーションに出せない人をどうするか？
- ・気軽にゴミを持ち込める場所
- ・リサイクルの場を多く作ってほしい 企業(リサイクルショップ)がなくなった
- ・資源ごみ、紙など出せる場が多くあってほしい。コンビニで図書館の本が返却可のように
- ・紙バッグなどの活用 資源活用場

③何をするか、できるか

分別

- ・分別を徹底する
- ・分別することを楽しむ
- ・出す前から分別しておく
- ・ゴミを出さないようなものを選ぶ
- ・分別を苦にせず買いたいものを買う
- ・ゴミの量を減らす・・・なんだか後ろ向き。ポジティブにゴミ問題を考えたい
- ・負担感にならない程度のゴミの分別

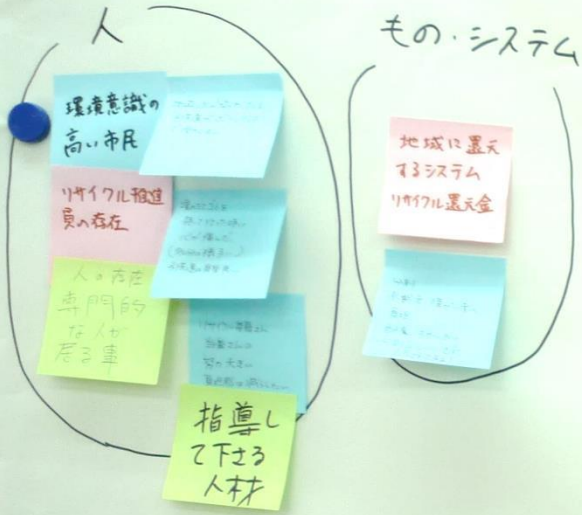
利用方法・システム

- ・リサイクル リングプルでアート作品づくり 楽しくリサイクル
- ・生ごみを堆肥化して、農業・農園＝見える化システム
- ・ゴミを出さないように買物をひかえたりしている。消費も拡大する方法は、リサイクル・・・かな
- ・ゴミ分別をしている、ゴミのないきれいなまち、アピールできる！ まちにゴミが少ない

勉強

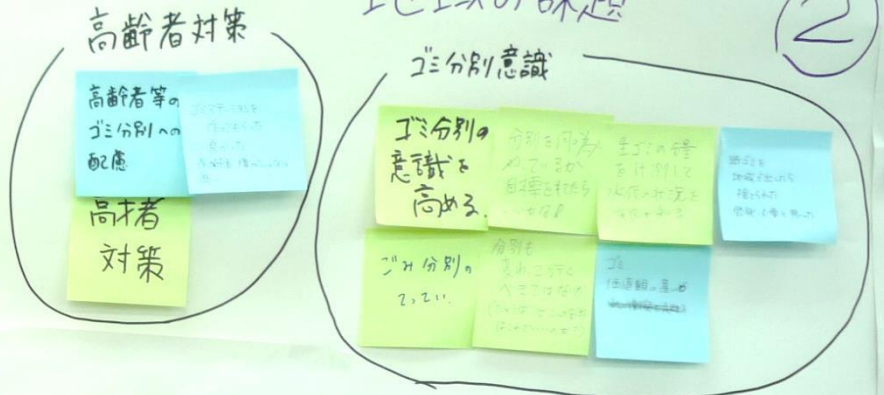
- ・年に一度ゴミの勉強を必ず！
- ・子どもでもわかりやすい分別表をつくる
- ・民間の業者をつなげる
- ・分別表をよく見る 見やすいところに貼っておく
- ・リサイクル品の行方を知りたい
- ・まず、水俣市民が環境への取り組みについて理解する機会を設ける

① 活用できる地域資源

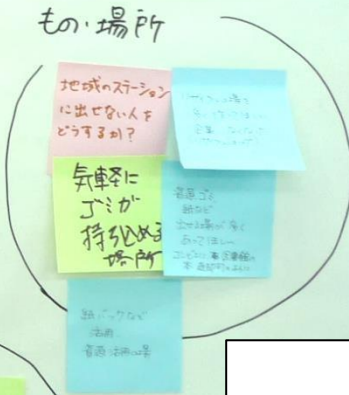


地域の課題

②

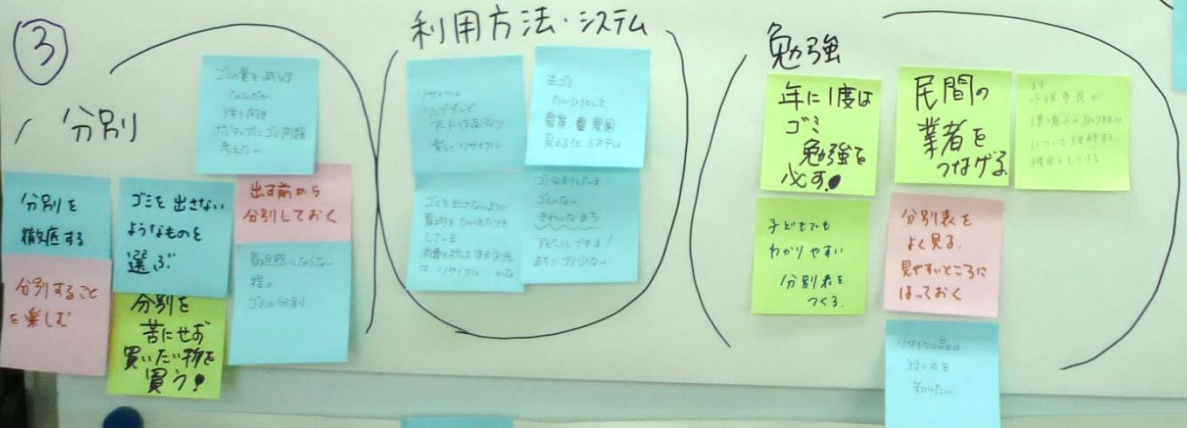


周りの地域の 手本となるまち



何をするか、できるか

③



A
グループ

B 班:子どもの笑顔があふれるまち

10年後の水俣市は「子どもの笑顔があふれるまち」を目標にして、親世代の就職先の充実や、児童福祉や教育環境の充実などを行うことが重要なポイントではないか。教育はどの時代も一番に優先されるものではないか。もし、そんなまちがあればみんなが住みたくなり、子どもたちが笑顔になると思う。

○食・人

地域の資源

- ・今の水俣の子供達
- ・SGH
- ・市民
- ・水俣高校の生徒さんたち
- ・水俣の女性
- ・小規模クラス
- ・おいしい海の幸
- ・安全な体にいい食べ物
- ・無農薬の安心安全な食べもの

課題

- ・大学・専門学校がない
- ・進学塾が少ない
- ・社会体育指導者不足
- ・子どものたまり場
- ・人口減少
- ・一人暮らし老人増加
- ・高齢化
- ・人手不足解消
- ・子育て、高齢者問題同時解決

何をするか、できるか

- ・シルバー活用(見守り)
- ・小規模学校の良さを活用
- ・自分の子供に水俣を好きにさせる
- ・放課後の先生がわり(部活、あそび)
- ・堂々と注意できるしくみづくり
- ・地域の人とコミュニケーションをとる
- ・地域活動に参加する
- ・環境の良さを伝える
- ・地域での仲間づくり
- ・JC(青年会議所)→他人事を自分事に
- ・定期的な清掃活動
- ・自社の農産品を販路拡大しながら水俣のPR
- ・おいしい食品の開発
- ・サポート

○住・職

課題

- ・求人あるけど人が集まらない
- ・一次産業 労働者減少
- ・農業の担い手
- ・就職先が少ない
- ・人材の不足
- ・働く場所
- ・ミスマッチ
- ・勤め先確保

何をするか、できるか

- ・意見・要望を聞く
- ・仕事に活かせる
- ・事業拡大(雇用)
- ・働きやすい職場づくり

○環境・土地

地域の資源

- ・自然豊か
- ・海・川・山の自然
- ・エコパーク(子供が遊べる場所)
- ・病院

課題

- ・交通の便が悪い
- ・耕作放棄地の解決
- ・土地が高い
- ・土地(平地が少ない)
- ・物価
- ・物が無い
- ・交通の便が悪い
- ・体力向上のための施設
- ・空き店舗 空き家
- ・シャッター街
- ・遊び場
- ・高校生のたまり場がない
- ・おしゃれな店が少ない
- ・カフェが少ない
- ・ファストフード店がない
- ・高校生が飲食できる場所が少ない

何をするか、できるか

- ・グリーンスポーツの再利用
- ・交通網活用
- ・店舗拡充
- ・地域密着イベント

○結論

山をつかえ

山には仕事も食べ物もいっぱい

たか
る

社会体育
地活
不

大学・専
門校がな
い
道徳塾が
少ない
小規模
学校の
校下
活用

新着方人

小規模
クラス

今の
水保の
子供達

水保向
の生徒
たち

SGH

水保の
サポ
ート

市民

子ども
下り場

放課後の
活動

自分の子
供に水保
を好ませ
る

山には
仕事も
食べ物も
いっぱい

シルバー
活用
(財源)
子育て
高齢者
問題
同時解決

子どもの笑顔が あふれるまち

食
住
職

住
職

環境
土地

耕作
放棄地
の解決
山間部
空家
(空家)
山間部
空家
(空家)

土地の
高い
土地
(平地が少ない)
物価
物が
ない

店舗
拡充
空き店
舗
空き家
シャッター
街
病院

自然豊
か
海川
山の
自然
グリーン
スポーツ
の
再利用

エコパ
ーク
(子供
の
遊び
場)

体の
向上
施設

交通の
便
が悪い

水保市
の
一番
の
場所

遊び場
高校生
の
に
まり
場
がない

交通網
活用

地域定
着
イベント

おしゃ
れな
店
が少ない
カフェ
がない

ファ
ース
ト
フード
がない

高校生
の
飲食
店
が少ない

求人
ある
など
人が
集
ま
り
ない

一
次
産
業
労働
者
減
少

意見
要望
を
聞く
仕事
に
活
か
せる

農業
の
担
い
手

警察
署

働
き
やすい
職
場
作
り

就職
先
が
少
ない

専
業
拡
充
(雇
用)

勤
め
先
雇
保
険

働
き
やすい
職
場
を
つ
く
る

人
材
の
不
足
働
く
場
所

ミ
ス
マ
ッチ

Bグループ

C班:まわりの人との関係を大切にすまち

水俣市の何より素晴らしいところは、「もやい」という言葉で表されると思った。水俣病で引き裂かれた地域のきずなを取り戻したもやい直しは、「地域との関係・結びつきが薄くなっている」といわれる現代社会に必要な活動である。現在も、様々なボランティアが呼びかけられ、イベントでは小さな子どもも参加できるような工夫がされている。これからも、もっといろんな活動を、共に行う中で、まわりの人との関係を大切にできるまちになればいいと思う。

①「小さなまち」を生かす(地域資源)

- ・水俣川
- ・森林資源
- ・コンパクトな地域に海山川がある
- ・自然が残されている
- ・空き家
- ・生ごみを堆肥にするやつ(キエー口)
- ・医療施設
- ・人口が少ない
- ・小さな町で知り合いが多い
- ・歩ける距離
- ・高齢者のお手伝い(畑・庭の手入れ etc.)
- ・「水俣」のネームバリュー

②ハンパある地域(課題・現状)

- ・地域間の関わり
- ・地域の集まり
- ・口に出さない基本的な人間関係
- ・イベントの量と量に対する質
- ・学校の校区の広さ
- ・竹
- ・公的施設が少ない
- ・おせっかいコンシェルジュ(が必要)
- ・子どもの遊び場づくり(地域の人の見守り)
- ・目の前の海・川で子どもだけで遊べない
- ・子どもがいないと(地域のことを)知ることがむずかしい
- ・積極性の差

③0(ゼロ)から始める新しい「もやい」(何をするか、できるか)

- ・遊ぶ
- ・外からの情報をネットで発信
- ・人材の地域への導入
- ・行事への参加
- ・パーティ(飲み会)
- ・地域の運動会や運動サークル
- ・例えばプレイパークをつくろうという動きをすることで始まるつながり
- ・話す
- ・周りの人への声かけ(特に高齢者)
- ・おもしろいことを考える
- ・声かけ 見守り
- ・遊び場の整備
- ・紙漉
- ・大人(高齢者)と子どもの交流

① 「いさなまち」 を生かす

★ 尻ハシにある地域 ★ ②

ゼロから始める 新しい「まやい」 ③

Water-related notes:

- 水俣川
- 森林資源
- コンクリートの地域に海が川がある
- 自然が残った。(利権)

Health and Community notes:

- 空ミヤ
- 生ゴミを堆肥にするやつ
- 医療施設
- 「水俣」のネーミング
- 小さな街で知り合いが多い
- 人口が少ない
- 高齢者の割合が高い (文庫、図書館、etc.)
- 歩ける距離

Regional and Local notes:

- 地域間の関わり
- 土地の集まり
- 口に出さず、実質的に関わり
- お世話のコミュニティ
- 子どもの遊び場づくり (地域の人集まり)
- 日頃の海・川で挨拶が通じない
- 子どもがいないと気づくことができない

Other notes:

- 心身の量と量に対する
- おもしろい
- 竹
- 学校の校区の広さ
- 公的施設が少ない
- 積極性の差
- 話し
- おもしろいことを考える
- 声かけ見守り (特に高齢者)
- 遊び場の整備
- 船産
- 大人(高齢者)と子供の交流

C
グループ

D班：活気ややりがいが出まるまち

これまで環境対策というと、ごみ分別や節水・節電など、「利益」とはあまり結びつかないイメージだったが、「環境ビジネス」(環境に良いことを利益とした事業全般)が、日本・世界各地で行われていることを知った。水俣市の就業人口の資料から、男性は製造業や卸売・小売業、女性は医療福祉や卸売・小売業が多いことが分かったが、様々な職業があり、それを生かせるようなまちになれば、若者も残り、活気あるまちになるのではないかと思った。

地域資源	課題	何をするか、何ができるか
空き家	空き家、空き店舗 空き家が多い 空き家を解消	空き家を利用して ・コミュニティセンターを作る ・子どもの心を育てる ・子どもの体を育てる
分別された資源ごみ 環境配慮：町全体、市民 高い市民意識	本当はゴミ分別を面倒だと思っている	分別された資源が水俣ブランドで商品化される 家族でごみ拾いをしている
自然 森林資源 湯ノ児・湯の鶴温泉 ローズガーデン コスモス園 タツノオトシゴ 恋龍祭 海 グリーンパーク		もっと水俣に目を向けてみること 地元のイベントに積極的に参加する (あったらいいもの) 自然のアスレチックと遊園地 水族館 海中レストラン

地域資源	課題	何をするか、何ができるか
	教育 学習環境(塾がない) 親の意識(市外を向いている)	子や孫に水俣に就職するように小さいうちから洗脳する (できたらいいこと) 大学・専門学校の設立
	高齢化 一人暮らしの人 地域のつながりが希薄 若い世代が少ない 一人暮らしの介護問題 高齢者による高齢者介護	
音楽 バンド活動 オペラ コーラス	雇用 買い物 店がない(魅力的な) 大型スーパーがない 商店街 娯楽施設がない	(あったらいいもの) ライブハウス マック(マクドナルド)がほしい

①

地域資源課題

何処でやる

3区別

空き家

空き家

空き家

空き家が
多い

空き家

空き家利用
（2区別）
セミナー作る

学習施設
（望みあり）

子どもの
心を育てる
子どもの
体を育てる。

Dグループ

環境配慮
町会主催
等

高年齢者
向け

分別された
資源ゴミ

分別された資源
が分別された
町会化される

本日は
面倒だと
思ってる

家族で
ご検討でき
ている

雇用

買い物
お店が無い
（努力的に）

大型スーパー
が無い

高齢者
向け

音楽
ハートフル
な
コーラス

ライブ
ハウス

207px
1300

音楽教室
が無い

木の丸
流の橋
ロープウェイ
コスモス園

森林資源

自然

自然のリス
と
遊園地

地元の
イベントに
積極的に
参加

水泳館
水中ウォーク

大学
専門学校の
施設

母親の志願
（在外）

子どもに
体験に
参加する
ように
取り組む

教育

高齢化

ひとり暮らし
の人

地域の
つながりが
希薄

若い世代が
少ない

高齢者の
介護問題

D
グループ

E班:海のきれいな水俣

水俣湾は、水俣病が確認された時より、間違いなく美しく、きれいな海になったが、栄養分が少ない状態にある。解決策の一つとして、植林を考えた。山が美しければ、山の栄養が川を通して流れ込むだけでなく、大雨の時も土砂崩れを防止することができる。かつて汚れたことがある水俣湾、水俣の海が日本中、世界中のどの海よりも美しくなったら、現在水質汚染で苦しんでいる地域に住む人々や水銀被害に苦しんでいる国・地域に住んでいる人々にとって、何よりの希望になるのではないか。私たちは将来水俣市で働き、そして、次の世代に「美しい海がある水俣」を引き継いでいきたい。

地域資源

- ・水
- ・米
- ・海産物
- ・木材
- ・山
- ・川

課題

- ・ゴミ
- ・川・海のゴミ
- ・生活排水
- ・農・林・漁業の従事者(少)
- ・高齢化
- ・イメージ
- ・道路がせまい

やるべきこと

- ・ゴミを拾う(ボランティア参加など)
- ・森林整備(ボランティアではなく)
- ・農業・林業の仕事を知る
- ・湾岸整備(ボランティアではなく)
- ・観光 PR(体験観光)

資源

水

米

海産物

木材

山

川

海のきれいな水俣

課題

ゴミ

川・海の
ゴミ

生活
排水

農・林・漁業
の従事者
😊

イメージ

道路が
せまい

ゴミを捨てる
(ボランティア等
など)

高齢化

やるべき事

森林整備
(ボランティア
など)

農業・林業の
仕事を久保

沿岸整備
(ボランティア
など)

観光PR
(体験観光)

E

グループ

F班:防災首都水俣

10年後の水俣に「防災首都」になってほしい。水俣市は東日本大震災の際、津波で大きな被害を受けた三陸海岸と同様、リアス海岸という地形的特徴があり、平成15年の豪雨災害の発生にもみられるように、土砂崩れや土砂災害の大きな被害が想定される、山が多いまちでもある。市民アンケートによると、水俣市民の防災意識は高いとあったが、災害に備えた準備が十分とは言えない部分がある。市民の防災「意識」が高まるだけでなく、実際に避難グッズを整えたり、避難訓練に積極的に参加したりといった「行動」が盛り上がっていけばいいと思っている。

資源

- ・ハザードマップ(防災マップ)
- ・消防署
- ・消防団

課題

- ・サイレン、防災無線が聞こえないことがある
- ・スマホの活用
- ・情報収集(地域差)
- ・周知方法
- ・避難の情報の慣れ
- ・避難場所(車いす)
- ・材木の伐採の影響等の調査

意識

- ・市民の意識
- ・市民の意識向上
- ・防災意識を持つ
- ・防災意識高める
- ・防災意識の向上(もしかしたら・・・)
- ・当事者意識を持つ
- ・避難訓練への参加
- ・避難訓練
- ・ハザードマップをもっと地域ごとに具体的に活用する
- ・避難場所
- ・地域ごとの対応した避難内容

自分でできること

- ・避難準備物
- ・非常カバン

- ・非常持ち出し品をまとめておく チェック
- ・避難グッズ
- ・防災準備(備え)
- ・持ち出しグッズ準備
- ・災害に備えての準備
- ・避難する
- ・知る
- ・危険場所のチェック
- ・避難場所(までの)への確認
- ・避難する方法
- ・確認
- ・逃げ道を共有する
- ・家で話し合い 避難場所、待ち合わせ場所
- ・声
- ・呼びかけ
- ・見回り
- ・近所に目配り、声かけ
- ・地域のつながり
- ・見守り(気にしあう)
- ・話し合い

Fグループ

防災首都水俣

意識

資源

課題

避難場所

非常かん

呼びかけ

避難する

避難場所 (避難)への
確認

避難に
目くすり
手こすり

持ち出し品
確認

声

危険箇
所の確認

災害
備えの
準備

話し合い

避難難
グッツ

防災
準備
(備え)

確認

見回り

知る

避難
場所
の確認

避難
場所

防災意識
をもつ

避難訓練
への
参加
防災意識
を
高める

非常持出品
避難場所
の確認

避難
場所
(見回り)

見回り
(見回り)

避難
訓練

市民の
意識向上

市民の
意識

意識

防災
意識
をもつ

避難
場所
の確認

避難
場所
の確認

避難
場所
の確認

避難
場所
の確認

意識
意識向上

意識
意識向上

防災意識
の向上
(避難)

避難
場所
の確認

情報
収集
(地域)

自分で
できること

避難
場所
(車いす)

避難
場所
(車いす)

同知方法

ハザード
マップ

防災
マップ

避難
場所
の確認

防災
マップ

危険
地区

消防署

消防団

消防
の
置

消防
の
置

避難
場所
の確認

避難
場所
の確認

避難
場所
の確認

避難
場所
の確認

避難
場所
の確認

避難
場所
の確認